

2026年
令和8年

年頭に あたり



釧路市長
つるまひでのり
鶴間秀典



釧路市議会議長
はたなかまさのり
畠中優周

新年明けましておめでとうございます。謹んで年頭のごあいさつを申し上げます。

市長就任1年目の市政を担った昨年は、市民の皆さま、そして市役所職員のおかげで、さまざまな政策を実現することができました。本当にありがとうございます。

特に自然環境保全に関しましては、6月に「ノーモア メガソーラー宣言」を発信、10月からは「釧路市自然と太陽光発電施設の調和に関する条例」を施行いたしました。また、国においても法整備や釧路湿原国立公園計画の見直しの動きがみられたところでございます。さらに、新たにマーケティング戦略室を設置し、ふるさと納税や企業版ふるさと納税などの「外から稼ぐ」取り組みの拡大や、市外の大学との連携を強め、都会の若者をターゲットとしたサテライトキャンパス誘致の取り組みの土台を築くことができました。

また、すべての中学校区にALT（外国人英語指導助手）を配置し、小中連携を生かした英語教育の充実に取り組むほか、北陽高校と台湾の台北市私立景文高級中学との間で姉妹校提携を実現し、積極的に海外の人々と交流を図る国際理解教育を通じた世界展開戦略と未来の人づくりを始動し、併せて、カナダのバーナビー市との姉妹都市提携60周年を記念し、相互訪問を行うなど、国際交流に努めてまいりました。

昨年は猛暑日の観測が歴代最多の記録を更新する中、釧路市は8月でも平均気温が22°Cであるとして、全国的にも注目度が高まり、さらに釧路商工会議所による「cool stay 釧路」キャンペーンの後押しも相まって、多くの長期滞在者が釧路にいらっしゃいました。

新年におきましては、物価上昇などの影響により、市の財政や市民生活が非常に苦しい状況ではございますが、次世代のためもう一歩ずつ「笑顔倍増計画」「世界展開戦略」「未来の人づくり」「行財政運営」に係る取り組みを進めるとともに、隣近所、市民同士、釧路市を訪れる旅行者など、気さくに明るくあいさつを交わし合う「あいさつ運動」を市民みんなで楽しく展開していきたいと考えております。

市民の皆さまが暮らしやすいまちづくり、また、行政組織の持続可能な環境づくりを目指し、市民と職員が一体となってこのまちの未来を築いていく市政運営を進めてまいります。

皆さまの笑顔の輪が広がる新年となりますことを祈念申し上げ、年頭にあたりましてのごあいさつといたします。

本年もよろしくお願ひいたします。

明けましておめでとうございます。

市民の皆さんにおかれましては、希望に満ちた輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

私たち釧路市議会は、昨年5月に議員任期の折り返しとなる3年目を迎えて、新たな体制でスタートを切りました。この新体制では、2023（令和5）年度に発足した「議会改革等検討会議」を「議会改革特別委員会」として発展的に改編し、より一層責任ある立場で議会改革を推進することとし、皆さんにとって分かりやすく開かれた議会を実現するため、議会の運営方法をはじめ、さまざまな改革の取り組みを進めております。

また、皆さんのご意見を積極的に聴取することを目的とし、従来の「議会広報特別委員会」の「広聴」の機能を強化するため、名称を「議会広報広聴特別委員会」と変更しました。その活動の中で、釧路公立大学や釧路湖陵高校の皆さんとの意見交換を通じて貴重なご意見をいただくとともに、主権者教育の取り組みを実施し、次代を担う若い世代の方々の議会への関心がさらに高まるよう努めてまいります。併せて、例年開催している議会報告会も、皆さんとの貴重な交流の機会であり、今後も市民意見を議会活動に取り入れるため、さまざまな取り組みを進めてまいります。

さて、昨年を振り返りますと、本市が直面する重要課題に対し、議会が持つ責任を一層実感する年となりました。太陽光発電施設の設置に係る問題では、再生可能エネルギーの推進による希少な野生生物への影響などについて議論を重ね、「釧路市自然と太陽光発電施設の調和に関する条例」の制定に至ったほか、釧路駅周辺整備推進事業については、現在も議会内で活発な議論が続けられています。

昨今、日本の地方都市が抱える課題として、人口減少や少子高齢化などがあげられますが、このことは釧路市にとっても例外ではありません。こうした課題を前に、皆さんが安心して暮らせるまちづくりを進めるため、二元代表制における議会の果たすべき役割と責務を自覚し、より活発な議会議論に議員一同全力で取り組む所存であります。

結びに、本年が皆さんにとりまして幸せで実り多い年となりますよう、心からご祈念いたしますとともに、本年も変わらぬご支援とご協力を賜りますよう申し上げ、新年のごあいさつとさせていただきます。

